

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ長町南
2	指定管理者	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
3	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 73,471人（前年度比97.5%） 内訳 ひろば利用者 71,155人 託児利用者 2,316人 ※視察等の利用者 1,097人 平成27年度 78,552人 平成28年度 79,707人 平成29年度 75,355人
		《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 22,242千円 (22,302千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 4,736千円 (4,173千円) ・ その他収入 206千円 (269千円)
6	利用者の声	《実施状況》 ・ 意見箱「聞かせてBOX」の設置 ・ イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し、掲示等により利用者に周知している。 利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心してできるまちの実現に大きく貢献している。	21/21
II	施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取組がなされている。	29/29
III	施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破損していないか、温度は適切かなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。	18/18
IV	サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。 職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。	28/28
V	施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集、一時預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。	9/9

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人 ワーカーズコープ）による自己評価》	
<p>今年度も7万人を超える利用者を受入れてきました。太白子育てネットワークの事務局として、各地域との繋がりをさらに深めることができた一年だったと思います。毎回のびすくを会場にして開催されてきた「ウエルカムパーティー」は、東長町児童館が会場になったことがきっかけとなり、富沢児童館、八本松児童館、西多賀児童館と、それぞれが会場館として声を挙げてくれました。ネットワークとして横の連携がさらに大きく広がってきたことを実感しています。また2地区の民児協と繋がったことも大きな成果をあげました。利用者と町内やスーパーで会った際、気軽に声を掛け合い、顔の見える支援ができるようになったと民児協の会長が話されていました。「出張児童館」や「出前のびすく」では、その地域の利用者や支援者とも繋がることができました。太白区の子育て施設の拠点として他の子育て支援施設、子育て支援者、地域のボランティアの方との協力を得ることができ、多くの利用者の笑顔に触れることができたと思います。</p> <p>職場体験、大学生の実習や夏ボラの受入れ等も地域交流として多くの成果を生み出しました。館内は常に家族連れで賑わい、一日の利用者が350人を超える日が何日もありました。父親事業、母親事業に加え、その他お話し会、ヨガなどのイベントは常に定員となり、関心の高さが伺われます。長町南独自の「はあとバンク」のオムツや離乳食はいつも利用されており、「もったいない精神」が浸透していると感じています。</p> <p>今後も若い子育て家族が安心して利用できるよう、「心地よい安心・安全な居場所」として、のびすく長町南を職員が一丸となって運営していきたいと思っています。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>全てののびすく(子育てふれあいプラザ等)の中で最もひろばの利用者数が多い中、職員が利用者一人ひとりに丁寧に対応することで、高い満足度と安定した継続利用につながっている。不要になった未使用の育児用品等を必要な方に譲る「はあとバンク」、利用者が意見や質問、悩みなどを気軽に書き込み、それを受けて別の利用者や保育士等のスタッフがコメントを書き込む「ママのつぶやきノート」といった独自の取組は、利用者同士がつながるきっかけとしても機能している。また、利用者の声に応じて3歳児向けのイベント「わんぱくあそびたいむ」を企画・開催し好評を得るなど、利用者目線を意識して施設の運営に取り組んでいる。</p> <p>太白区家庭健康課等と協力し、「太白子育てネットワーク」の事務局として、転入者向けの「ウエルカムパーティー」の企画・運営を行ったほか、地区の民生委員児童委員の協力を得て母親向けのイベントを開催したり、法人のネットワークを生かし、太白区内の児童館に職員が出向く「出前のびすく」や児童館職員がのびすくで出し物をする「出張児童館」を開催するなど、地域の子育て支援者との連携にも積極的に取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課